

化学物質等安全データシート(MSDS)

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	:捺染顔料3インク イエロー
製品コード	:SPC-0607Y
会社名	:株式会社ミマキエンジニアリング
住所	:長野県東御市滋野乙2182-3
担当部門	:技術本部
メールアドレス	:ink@mimaki.com
電話番号	:0268-64-2413
FAX番号	:0268-64-5580
緊急時の電話番号	:0268-64-2281
	:(財)日本中毒情報センター 中毒110番
	* 一般市民専用電話
	(大阪)072-727-2499 365日 24時間対応
	(つくば)029-852-9999 365日 9~21時対応
	* 医療機関専用電話
	(大阪)072-726-9923 365日 24時間対応
	(つくば)029-851-9999 365日 9~21時対応
(事故に伴い急性中毒のおそれがある場合)	
推奨用途及び使用上の制限	:水系顔料インク、インクジェットプリンター用

2. 危険有害性の要約

[GHS分類]

物理化学的危険性	
引火性液体	:区分外
健康に対する有害性	
急性毒性(経口)	:区分5
急性毒性(経皮)	:区分外
急性毒性(吸入:蒸気)	:区分外
皮膚腐食性/刺激性	:区分3
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	:区分2A
生殖毒性	:区分1B
環境に対する有害性	
水生環境有害性(急性)	:区分2

上記で記載が無いものは、分類できない、分類対象外

[GHSラベル要素]

絵表示



注意喚起語
危険

化学物質等安全データシート(MSDS)

危険有害性情報

- H302 飲み込むと有害のおそれ
 H316 軽度の皮膚刺激
 H319 強い眼刺激
 H361 生殖能または胎児への悪影響のおそれ
 H401 水生生物に毒性

注意書

[安全対策]

- P273 環境に放出しない様に注意して取り扱うこと。
 取扱い中は、皮膚に触れないように注意し、保護眼鏡(ゴーグル型)、保護手袋、保護マスク、保護衣などの適切な個人用保護具を着用すること。
 P264 取扱い後はよく手を洗うこと。

[応急措置]

- P342+P311 呼吸に関する症状が出た場合には、医師の診断/手当てを受けること。
 P301+P330+P313 飲み込んだ場合は、口をすすぎ、医師の診断/手当てを受けること。
 P305+P351+P313 眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗い、医師の診断/手当てを受けること。
 P303+P352+P361 皮膚または髪に付着したときは多量の水と石鹼で洗い、衣類が汚染されたときは直ちに全てを取り除くこと。
 P332+P313 皮膚刺激が生じた時は、医師の診断/手当てを受けること。
 P308+P313 暴露または暴露の懸念がある時は、医師の診断/手当てを受けること。
 P314 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。

[保管]

- P233+P410+P403 容器を密閉し、直射日光を避け、熱源から離れた換気の良い場所で保管すること。

[廃棄]

- P501 内容、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託し廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一物質・混合物の区分 : 混合物
 成分及び含有量

成分名	含有量 [%]	官報整理番号	CAS No.	備考
水	60-70	対象外	7732-18-5	
湿潤剤	20-30	-	-	
樹脂	1-5	-	-	
顔料	1-5	-	-	
分散剤	1-5	-	-	
その他	1-5	-	-	

4. 応急措置

吸入した場合

負傷者を新鮮な空気の場所に移動し、休息させる。嘔吐が自然に生じたときは気道への吸入がおきないように身体を傾斜させる。水でうがいをする。

皮膚に付着した場合

すべての汚染された衣類を直ちに脱ぐ。皮膚と接触した場合は、直ちに多量の水又は石鹼水で洗う。

化学物質等安全データシート(MSDS)

目に入った場合

直ちに清浄な水で5分以上洗い流す。

眼と接触した場合は直ちに多量の水で洗い医師の診断を受ける。

眼球を傷つける可能性があるのでこすらない。

飲み込んだ場合

嘔吐が自然に生じたときは気道への吸入がおきないように身体を傾斜させる。

事故の場合または気分が悪いときは、直ちに医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受け、この容器に記載された注意事項やラベル、MSDSを示す。

飲み込んだ場合は、水で口内を洗う(その人の意識がある場合のみ)。

応急措置をする者の保護

救急者は保護具を着用する。(曝露防止措置の注意事項を参照)。

5. 火災時の措置

消火剤

泡、噴霧水、乾燥砂、粉末。

特有の消火方法、消火を行う者の保護

周辺火災の場合: 移動不可能な場合、容器、梱包及び周辺に散水し冷却する。

着火した場合: 火元(燃焼源)を断ち適切な消火剤を用いて風上から消火。

火災により有毒ガスやヒュームが発生するので、適切な呼吸用保護具(送気マスク、自給式呼吸器等)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業者は保護具(曝露防止措置及び保護措置の項を参照)を着用し、風上で作業する。

屋内の場合、処理が終わるまで適切な換気を行う。

漏出した場所の周辺にはロープを張る等して、関係者以外の立ち入りを禁止する。

環境に対する注意事項

・漏出物が河川、水路等公共水路に流れ込むのを防止する。

封じ込め及び浄化の方法・機材

漏出液を密閉可能な容器にできる限り集める。

残留液は土、砂等に吸着させて密閉可能な容器に回収する。回収した漏出物は廃棄上の注意に従って廃棄する。

漏出した場所の周辺には関係者以外の立ち入りを禁止する。万一、河川公共水路等に流れ込んだ場合は、直ちに地方自治体の公害担当者に報告する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

容器は注意して取扱い、開ける。使用時には飲食しない。皮膚との接触を避ける。眼との接触を避ける。眼と接触した場合は直ちに多量の水で洗い、医師の診断を受ける。すべての汚染された衣類を直ちに脱ぐ。皮膚と接触した場合は、直ちに多量の水又は石鹼水で洗う。

技術的対策: 換気の良い区域でのみ使用する。取扱い場所の近くにシャワー手洗い洗顔設備等を設けその位置を表示する。作業中のコンタクトレンズの着用は好ましくない。

眼/顔面用の保護具を着用する。

適当な保護衣及び眼/顔面用の保護具を着用する。

化学物質等安全データシート(MSDS)

取扱い後は手洗い、洗顔を十分に行う。

注意事項: 取扱いは換気の良い場所で行う。局所排気装置の設置された場所で作業する。

保管

熱から離して保管する。

着火源から離して保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

[管理濃度、許容濃度]

情報なし

[設備対策]

取扱いについては全体換気装置または局所排気設備を設置した場所で取り扱う。

取扱い場所の近くにシャワー手洗い洗顔設備等を設けその位置を表示する。

[保護具]

呼吸器の保護具

本製品を多量に使用する場合、または密閉空間で使用する場合には、送気式もしくは自給式呼吸器を推奨する。

手の保護具

不浸透性手袋(ウレタン製等)

目の保護具

保護眼鏡(ゴーグル型)または保護面(防災面)。

皮膚及び身体の保護

帯電防止性能を有する、長袖の保護衣及び安全靴を推奨する。

9. 物理的及び化学的性質

性状(状態、色)	: 黄色液体
臭い	: 特異臭
粘度	: 4-6mPa・s(20℃)
pH	: 7.0-9.0
沸点(初留点及び沸騰範囲)	: 有効データなし
引火点	: 引火しない

10. 安定性及び反応性

安定性(危険有害反応可能性)

通常の保管及び取扱いの条件では安定と考えられる。

11. 有害性情報

[急性毒性]

化学物質等安全データシート(MSDS)

成分名	経口 (rat)	経皮 (rat or rabbit)	吸入 (マウス)
ジエチレングリコール	12,565mg/kg	11,890mg/kg	130mg/m ³ /2H

[皮膚腐食性/刺激性]

製品として区分3

[眼に対する重篤な損傷・刺激性]

製品として区分2A

[呼吸器感作性又は皮膚感作性]

製品として該当しない

[生殖細胞変異原性]

製品としては該当しない

[発がん性]

製品としては該当しない

[生殖毒性]

製品としては区分1B

[特定標的臓器・全身毒性-単回ばく露]

製品としては該当しない

[特定標的臓器・全身毒性-反復ばく露]

製品としては該当しない

[吸引性呼吸器有害性]

製品としては該当しない

12. 環境影響情報

一般注意事項

- ・漏洩、廃棄等の際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。
- 特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

- ・廃インク、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。
- ・容器、機器装置を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- ・排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。

汚染容器及び包装

- ・空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
- ・許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理をする。

14. 輸送上の注意

取り扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

国連分類 : なし

国連番号 (UN No.) : なし

化学物質等安全データシート(MSDS)

〔国内規制〕

陸上規制情報 : 消防法、労働安全衛生法、道路交通法に従うこと。

海上規制情報 : 船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空規制情報 : 航空法の定めるところに従うこと。

〔国際規制〕

海上規制情報 : IMO/IMDGの規定に従うこと。

航空規制情報 : ICAO/IATAの規定に従うこと。

15. 適用法令

消防法 : 該当しない

毒物及び劇物取締法 : 該当しない

労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)

銅及びその化合物(政令番号:379): 1~5%

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) : 該当しない

進法(PRTR法)

外国為替及び外国貿易法 : 輸出貿易管理令別表第1の16項に該当するので、経済産業省のガイドラインの参照や事前相談が望ましい。

16. その他の情報

参考文献

国際化学物質安全性カード(ICSC)日本語版

Registry of Toxic Effects of Chemical Substances(RTECS)

作業環境評価基準

産業衛生学会雑誌

2001 TLVs and BEIs(ACGIH)

米国連邦規則集(OSHA)

IARC Monographs on the Evaluation of Carcinogenic Risk to Humans(IARC)

法規制物質リスト(日本ケミカルデータベース)

ケミカルデータベース(日本ケミカルデータベース)

GHS分類結果データベース(製品評価技術基盤機構 NITE)

CHEMGOLD2 (ChemWatch)

本データシートは、作成時または改定時において、製品及びその組成に関する最新の情報(危険有害性情報・取扱情報)を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改訂致します。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。

本製品を当社が認めた材料以外のものと混合、当社が認めた使用以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行って下さい。

改訂履歴

Ver.	日付	項目No.	内容
1.0	2010/12/20		新規作成
2.0	2011/01/31	2	「施錠して保管」を削除

化学物質等安全データシート(MSDS)

3.0	2016/12/26	1	メールアドレス変更 jp⇒com 担当部門名変更、担当者名削除